

特集 変貌する慢性肝疾患診療

はじめに

慢性肝疾患診療の最新動向

アルコール性肝疾患の病態・栄養アセスメント

代謝関連肝疾患の病態・栄養アセスメント

脂肪肝の栄養療法

肝硬変の栄養療法

肝疾患の薬物療法—脂肪肝から肝硬変まで

肝疾患におけるサルコペニア—原因と対策

肝疾患と全身臓器のクロストーク

肝疾患病態栄養専門管理栄養士制度に関連して

●編集委員

上原秀一郎 日本大学

大木いづみ 慶應義塾大学病院

澤田実佳 東京大学病院

鈴木里彩 東京医科歯科大学

本川佳子 東京都健康長寿医療センター研究所

山崎聖美 医薬基盤・健康・栄養研究所

●編集協力者

岡本康子 浜松医科大学、志都呂クリニック

北島幸枝 東京医療保健大学

嶋津さゆり 熊本ハビリテーション病院

志水晃介 大阪医科歯科大学病院

土井悦子 虎の門病院

中原さおり 鈴鹿中央総合病院

✎ 本号では「行動栄養学への招待」と題し、雨海照祥先生、佐々木 敏先生、村上健太郎先生の座談会を掲載しています。その中の、「行動栄養学からみた『水』」の項目での「日本人においては、固形の食べ物からの水の摂取割合が大きい」というお話には、佐々木先生の著作『行動栄養学とはなにか?』を読んだ際にもとても驚かされました。たしかに、日本の食事は諸外国のもの比べると汁物が多いような印象があり、また、高熱で食事ができないときに、意識的に飲み物をとっても脱水症状になった自身の経験も思い出しました。「食品や栄養素」と「健康」の間に「人間の行動」という要素をつなぎ、大きな視点で栄養学をとらえる取り組みには非常に学ぶ点が多いと感じます。ぜひ、本座談会を「招待状」とし、行動栄養学の世界へ足を踏み入れてはいかがでしょうか。(西田)

✎ 現在検討中のアクティブガイド 2023案では、いまより10分多くからだを動かすためのサジェスションとして「家の近くに魅力的な公園や運動施設はありませんか?」の記載があります。最近すこし遠出して規模の大きな公園(水元公園、小金井公園)を訪れる機会があったのですが、心地よく魅力ある公園は散策するだけで楽しく、からだを動かしたくなる環境として最高の資源であることを感じました。公園は緑の保全や防災など多様な役割を担っていますが、ウェルビーイングの点からは健康づくりや運動ニーズに応える環境に加えて、何度でも訪れたくなるような心地よく過ごせる場としての充実が望まれるように思います。本特集では、生活指導に必携の「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」について、そのエッセンスをご紹介します。ぜひご覧ください。(白井)

ご投稿について

本誌では読者の皆様からの投稿を歓迎いたします。原稿は①原著論文、②報告(活動・実践・症例など)の2種類を受け付けます。なお、市販製品の開発・試験・治験にかかわる投稿については掲載料を申し受けます。詳しい執筆要項や投稿方法などは弊社ウェブサイトの『臨床栄養』のページにある投稿規定をご覧ください。

本誌の購読について

●定期購読のおすすめ

- ・最寄りの書店に「定期購読」をお申し込みください。欠号のおそれがなく、確実にお求めいただけます。
 - ・便利な前金一括払いでの年間購読もおすすめます。前金一括払いの購入の場合は下記の方法でお申し込みください。
- (1)小社特約店(書店)へお申し込みください。
特約店一覧 <https://www.ishiyaku.co.jp/tokuyaku.aspx>
(2)富士山マガジンサービス(<https://fujisan.co.jp>)へお申し込みください。希望する雑誌名で検索してください。

臨床栄養

The Japanese Journal of Clinical Nutrition

2024年5月号

第144巻・第5号/通巻990号

2024年4月25日印刷

2024年5月1日発行

定価1,980円(本体1,800円+税10%)

編集発行人/白石泰夫

発行所/医歯薬出版株式会社

〒113-8612 東京都文京区本駒込1丁目7番10号

電話 編集 (03)5395-7625(直)・販売7616(代)

表紙デザイン/山影麻奈 表紙イラスト/山里美紀子

デザイナー/杉山光章, Miyake Design, (株)アクティナワークス, 佐藤温志, (株)明昌堂

印刷所/壮光舎印刷(株) 製本所/榎本製本(株)

URL: <https://www.ishiyaku.co.jp/>

E-mail: jcn@ishiyaku.co.jp (編集部),

m-sales@ishiyaku.co.jp (販売)



本誌の複製権・翻訳権・翻案権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)・口述権は、医歯薬出版(株)が保有します。本誌を無断で複製する行為(コピー、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」などの著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。また私的使用に該当する場合であっても、請負業者等の第三者に依頼し上記の行為を行うことは違法となります。

ICOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌をコピーやスキャン等により複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail:info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。